
叶わぬ恋だけれど

HERON

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

叶わぬ恋だけれど

【著者名】

N2084D

【作者名】

HERON

【あらすじ】

従僕がお嬢様に恋をした。彼は、それは叶わぬ恋だと分かっていた……だけど彼は、お嬢様が好きだった。

「ここは大きな一軒家。そこで働く一人の従僕が大きな一軒家のお嬢様に恋をした。叶わぬ恋だと分かっているけど、それでもお嬢様が好きだった。」

「おい！ まだ部屋の掃除が終わっていないのか。このノロノロマめ！」

主人が、掃除を始めたばかりの従僕に理不尽にガニガニ怒る。

「申し訳ございません。すぐに終わらせますので」

主人にどれだけひどいことを言われても、お嬢様がいると思うだけで我慢できる。ここで怒つてしまっては、もうお嬢様に会えなくなるのだから。

そしてそのお嬢様はと、

「部屋の掃除が終わったら、すぐに晩御飯を作るのよ！ 分かってるわね！？」

こんなことを平氣で言つお嬢様だけど、彼は知つてゐる。晩御飯の残りを主人に内緒で庭に住んでいる猫にあげていること。彼は、内面に優しさがあるお嬢様のことが大好きだ。

でも、そんな時間も長くは続かなかつた……

主人が、使えない従僕に嫌気がさして解雇することに決めた。彼もいつかそんな日が来ると思って覚悟を決めてた。だけど、本当に言われるとなるとやっぱり悲しいし寂しい。何より、お嬢様にもう会えないんだと思うと胸が痛くなる。

でもここで主人に逆らってはそれこそ迷惑がかかると思い、彼は荷物をまとめ、泣きたい自分を抑え笑顔で去ることに決めた。

そして、いよいよここから去るときが来た。普通、別れと言えば感動があるはずなのに、そんなもんありやしない。逆にやつと去つてもらえるといった表情をしている。

でも彼は、お嬢様に感謝の気持ちを込めて精一杯手を振った。お嬢様も小さくではあるが手を振り返してくれた。彼にとっては、それが何よりも嬉しい返事だつた。

そして彼は去つていった……

従僕でありながらお嬢様に恋した彼。彼にとつては叶わぬ恋。主人に嫌がられ、理不尽な命令を受けながらもお嬢様のために頑張つた彼。お嬢様と一緒にいた全ての時間が青春のページ。

恋をしてる人は輝いているというけれど、それは本当なのだと思います。だって、間違いなくお嬢様のために頑張つていた彼は輝いていたのだから……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2084d/>

叶わぬ恋だけれど

2010年11月27日06時51分発行